

# 信濃町の給与・定員管理等について

## 1 総括

### (1) 人件費の状況（普通会計決算）

区分	住民基本台帳人口 (H28年1月1日)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 26年度の人件費率
	人	千円	千円	千円	%	%
27年度	8,943	5,623,518	194,307	706,350	12.56	13.46

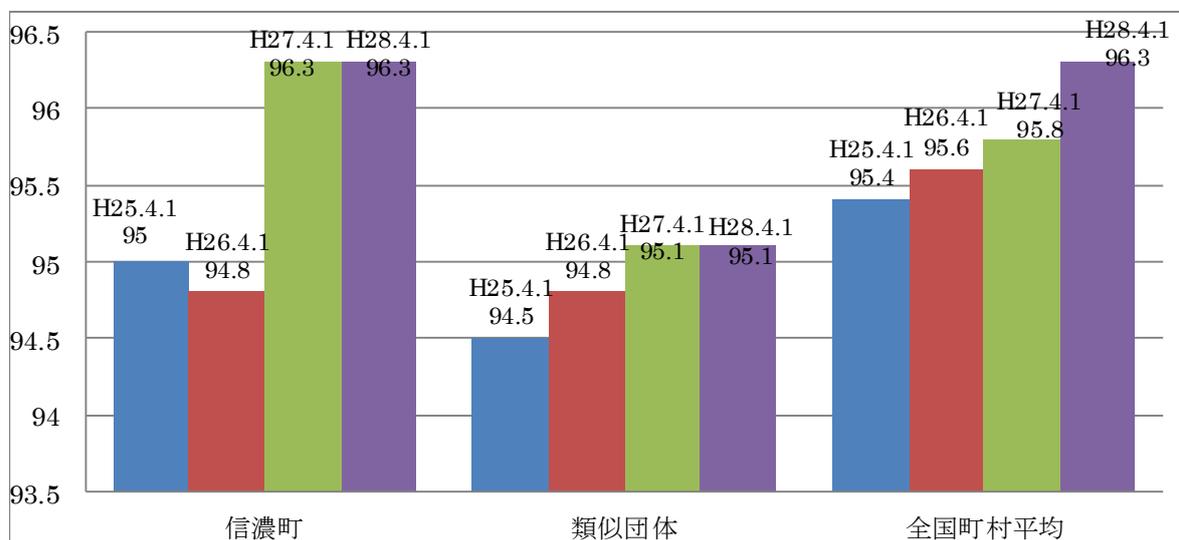
### (2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

区分	職員数 A	給与			計 B
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	
27年度	人 112	千円 380,043	千円 44,528	千円 137,408	千円 561,979

(参考)一人当たり給与費 B/A	(参考)類似団体平均一人当たり給与費
千円 5,017	千円 5,560

- (注) 1 職員手当には退職手当を含まない。  
 2 職員数は、平成27年4月1日現在の人数である。  
 3 給与費については、任期付短時間勤務職員（再任用職員（短時間勤務））の給与費が含まれており、職員数には当該職員を含んでいない。

### (3) ラスパイレス指数の状況



- (注) 1 ラスパイレス指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数（構成）を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表（一）適用職員の俸給月額を100として計算した指数。  
 2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものである。  
 3 平成25年は、国家公務員の時限的な（2年間）給与改定・臨時特例法による給与減額措置が

無いとした場合の値である。

#### (4) 給与改定の状況

- 1 信濃町は、人事委員会を設置していないため、勧告はない。
- 2 月例給の給与改定率・特別給の年間支給月数は、国に準じて改定している。

##### ①月例給

(参考) 国の改定率
%
0.17

##### ②特別給（期末・勤勉手当）

(参考) 国の年間 支給月数
月
4.2

#### (5) 給与制度の総合的見直しの実施状況について

##### ①給料表の見直し

[ 実施 未実施 ]

実施内容（平均引下げ率、実施（実施予定）時期、経過措置の有無等具体的な内容（未実施の場合には、その理由））

（給料表の改定実施時期）平成27年4月1日

（内容）国の見直し内容を踏まえて改定を実施した。激変緩和のため、減給の金額を超えるまで、現給保障を実施

他の給料表については、一般行政職給料表との均衡を踏まえて見直しを実施。

##### ②その他の見直し内容

なし

## 2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

### (1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況

(平成 28 年 4 月 1 日現在)

#### ① 一般行政職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国比較ベース)
信濃町	39.8歳	299,000円	332,117円	321,581円
長野県	45.3歳	338,946円	400,134円	374,885円
国	43.6歳	331,816円	—	410,984円
類似団体	42.2歳	304,939円	350,196円	331,494円

#### ② 技能労務職

区分	公務員					民間			参考 A/B
	平均年齢	職員数	平均給料 月額	平均給与 月額 (A)	平均給与 月額 (国比較ベース)	対応する 民間の 類似職種	平均年齢	平均給与 月額 (B)	
信濃町	50.8歳	13人	277,800円	302,414円	285,206円	—	—	—	—
その他	50.8歳	13人	277,800円	302,414円	285,206円	調理師	44.3歳	251,000円	—
長野県	58.2歳	18人	274,948円	295,401円	288,323円	—	—	—	—
国	50.4歳	2,876人	287,447円	—	329,358円	—	—	—	—
類似団体	50.7歳	5人	277,058円	301,929円	289,229円	—	—	—	—

※民間データは、賃金構造基本統計調査において公表されているデータを使用している（平成 25～27 年の 3 ヶ年平均）。

※技能労務職の職種と民間の職種等の比較にあたり、年齢、業務内容、雇用形態等の点において完全に一致しているものではない。

(注) 1 「平均給料月額」とは、平成 28 年 4 月 1 日現在における職種ごとの職員の基本給の平均である。

2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものである。

また、「平均給与月額(国比較ベース)」は、比較のため、国家公務員と同じベース(=時間外勤務手当等を除いたもの)で算出している。

### (2) 職員の初任給の状況 (平成 28 年 4 月 1 日現在)

区分		信濃町	長野県	国
一般行政職	大学卒	176,700円	186,300円	176,700円
	高校卒	144,600円	151,500円	144,600円
技能労務職	高校卒	142,000円	146,800円	—
	中学卒	134,000円	—	—

### (3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況 (平成 28 年 4 月 1 日現在)

区分		経験年数10年	経験年数20年	経験年数25年	経験年数30年
一般行政職	大学卒	252,600円	303,300円	342,700円	372,700円
	高校卒	202,500円	288,100円	316,100円	350,900円
技能労務職	高校卒	—円	—円	272,400円	266,300円

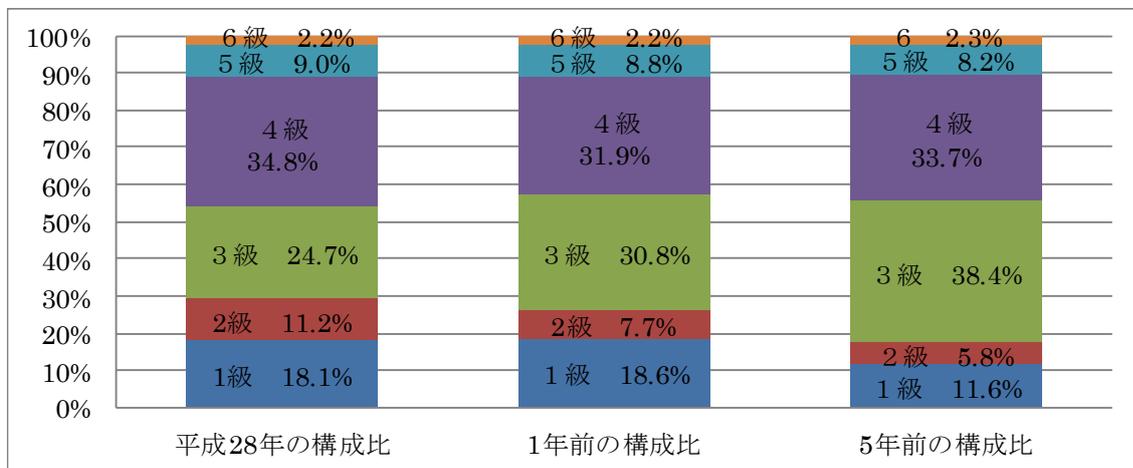
中 学 卒	一 円	一 円	一 円	一 円
-------	-----	-----	-----	-----

### 3 一般行政職の級別職員数等の状況

#### (1) 一般行政職の級別職員数及び給料表の状況（平成28年4月1日現在）

区 分	標準的な職務内容	職員数	構成比	1号給の給料月額	最高号給の給料月額
1 級	主事、主事補の職務	16人	18.1%	140,100円	246,100円
2 級	主任の職務	10人	11.2%	190,200円	303,000円
3 級	主査の職務	22人	24.7%	226,400円	348,800円
4 級	主幹、係長の職務	31人	34.8%	259,900円	379,800円
5 級	課長、課長補佐の職務	8人	9.0%	286,200円	391,800円
6 級	特に困難な業務を行う課長の職務	2人	2.2%	317,000円	409,000円

- (注) 1 信濃町の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。  
 2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。



#### (2) 昇給への勤務成績の反映状況

平成28年4月2日から平成29年4月1日までにおける運用	信濃町		国	
	管理職	一般職員	特定管理職員	一般職員
イ 人事評価を実施した	○	○	○	○
標準に加え、上位及び下位の区分も適用			○	○
標準に加え、上位の区分も適用				
標準に加え、下位の区分も適用				
標準の区分のみ適用	○	○		

ロ 人事評価を実施していない				
----------------	--	--	--	--

#### 4 職員の手当の状況

##### (1) 期末手当・勤勉手当

信濃町	長野県	国
1人当たりの平均支給額（27年度） 1,414千円	1人当たりの平均支給額（27年度） 1,678千円	—
(27年度支給割合) 期末手当 2.60月分 勤勉手当 1.60月分 (1.45)月分 (0.75)月分	(27年度支給割合) 期末手当 2.60月分 勤勉手当 1.60月分 (1.45)月分 (0.75)月分	(27年度支給割合) 期末手当 2.60月分 勤勉手当 1.60月分 (1.45)月分 (0.75)月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・ 役職加算 5～15%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・ 役職加算 5～20% ・ 管理職加算 15～25%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・ 役職加算 5～20% ・ 管理職加算 15～25%

(注) ( )内は、再任用職員に係る支給割合である。

##### ○ 勤勉手当への勤務実績の反映状況（一般行政職）

平成28年度中における運用	信濃町		国	
	管理職	一般職員	特定管理職員	一般職員
イ 人事評価を実施した	○	○	○	○
標準に加え、上位及び下位の区分も適用	○	○	○	○
標準に加え、上位の区分も適用				
標準に加え、下位の区分も適用				
標準の区分のみ適用				
ロ 人事評価を実施していない				

##### (2) 退職手当（平成28年4月1日現在）

信濃町			国		
(支給率)	自己都合	応募認定・定年	(支給率)	自己都合	応募認定・定年
勤続20年	20.445月分	25.55625月分	勤続20年	20.445月分	25.55625月分
勤続25年	29.145月分	34.5825月分	勤続25年	29.145月分	34.5825月分
勤続35年	41.325月分	49.59月分	勤続35年	41.325月分	49.59月分
最高限度額	49.59月分	49.59月分	最高限度額	49.59月分	49.59月分
その他の加算措置			その他の加算措置		
定年前早期退職特例措置 2%～20%加算			定年前早期退職特例措置 2%～45%加算		
1人当たり平均支給額 1,210千円 15,232千円					

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、27年度に退職した職員に支給された平均額である。

(3) 特殊勤務手当（平成 28 年 4 月 1 日現在）

支給実績（27年度決算）		180千円	
支給職員1人あたり平均支給年額（27年度決算）		36,000円	
職員全体に占める手当支給職員の割合（27年度）		15.4%	
手当の種類（手当数）		9	
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	左記職員に対する支給単価
防疫等作業手当	作業従事者	防疫作業	500円/日
死体処理手当	作業従事者	処理作業	3,000円/回
保健師主任手当	主任職にある者	保健師主任	3,000円/月
福祉業務手当	主任保育士	主任保育士	3,000円/月
社会福祉士手当	行政職（一）適用の職員であって、社会福祉士として勤務する職員	社会福祉士業務	3,000円/月
放射線取扱手当	放射線技師	放射線照射作業	230円/日
夜間看護手当	看護師・看護助手	深夜看護業務	1時間当たりの給与額50%加算+800円
医療業務手当	医師及び医療技術者	医療業務	給料月額に定率加算及び月額による支給
水道業務手当	水道業務従事職員	水道業務	7,000円/月

(4) 時間外勤務手当（一般会計）

支給実績(27年度実績)	16,151千円
職員一人あたりの平均支給年額（27年度実績）	145千円
支給実績（26年度）	16,323千円
職員一人あたりの平均支給年額（26年度）	145千円

(5) その他の手当（平成 28 年 4 月 1 日現在）（一般会計）

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績（27年度決算）	支給職員1人あたり平均支給年額（27年度決算）
扶養手当	配偶者 13,000円 子等の扶養親族 6,500円 満15歳以上22歳まで 加算5,000円	同		千円 10,812	円 230,400
住居手当	借家 12,000円を超える場合27,000円を限度	同		千円 6,676	円 279,600
通勤手当	乗用車等使用 距離に応じて2,460円から17,810円まで 電車・バス利用 45,000円まで全額それを超える部分5,000円を限度に半額支給	異	国 乗用車使用距離に応じて2,000円から31,600円までを支給	千円 103,156	円 105,600
管理職手当	給料月額の100分の8	同		3,392千円	378,000円

## 5 特別職の報酬等の状況（28年4月1日現在）

区 分		給 料	月 額	等
給 料	町 長	696,000円	(参考) 類似団体における最高/最低額 830,000円 / 345,000円	
	副 町 長	577,000円	650,000円 / 360,000円	
報 酬	議 長	278,000円	365,000円 / 200,000円	
	副 議 長	202,000円	316,000円 / 168,000円	
	議 員	180,000円	301,000円 / 155,000円	
期 末 手 当	町 長	(27年度支給割合)		
	副 町 長	2.95月分 (平成25年から平成26年まで支給なし)		
退 職 手 当	議 長	(27年度支給割合)		
	副 議 長 議 員	2.95月分		
退 職 手 当	市 区 町 村 長	(算定方式)	(1期の手当額)	(支給時期)
	副 市 町 村 長	696,000円×在職月数×0.425	14,198,400	任期ごと
		577,000円×在職月数×0.254	7,034,784	任期ごと
	備 考			

(注) 1 給料及び報酬の( )内は、減額措置を行う前の金額である。

2 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期(4年=48月)勤めた場合における退職手当の見込額である。

## 6 職員数の状況

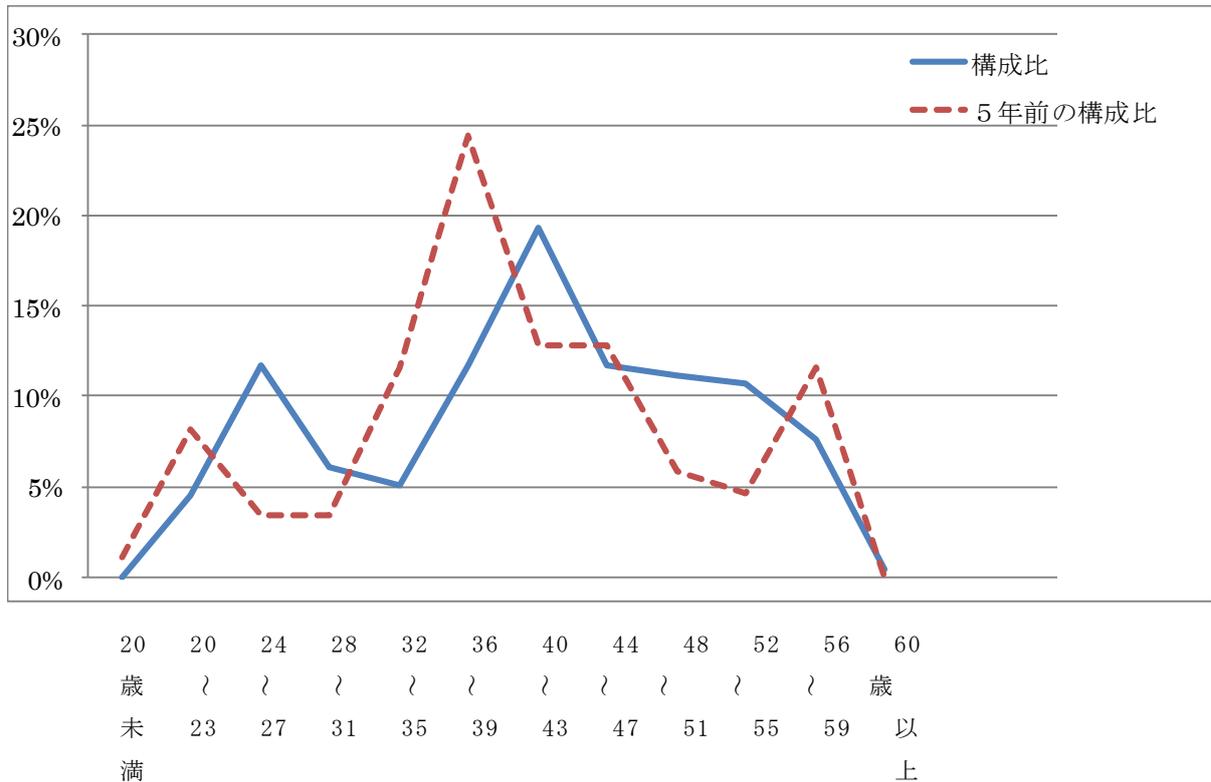
### (1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

(各年4月1日現在)

部 門	区 分		職 員 数		対 前 年 増 減 数	主 な 増 減 理 由
			平成27年	平成28年		
普 通 会 計 部 門	一 般 行 政 部 門	議 会	3	3	0	
		総 務	20	21	1	
		税 務	7	7	0	
		農 林 水 産	11	10	△ 1	獣医師の再任用
		商 工 土 木 生 産 衛 生	8	8	0	
			9	8	△ 1	技術職員の臨時対応
			27	27	0	
			11	10	△ 1	専門職員減
		計	96	94	△ 2	<参考> 人口1万人当たり職員数 105.77人 (類似団体の人口1万人当たりの職員数 101.04人)
		教育部門	16	14	△ 2	退職者見込採用者減
		消防部門	0	0	0	
		小 計	112	108	4	<参考> 人口1万人当たり職員数 121.52人 (類似団体の人口1万人当たりの職員数 124.28人)
公 営 企 業 計 等 部 門	病 院 水 道 下 水 道 交 通 そ の 他		74	77	3	臨時職員の採用
			5	5	0	
			2	2	0	
			0	0	0	
			5	5	0	
		小 計	86	89	3	
合 計			198	197	△ 1	<参考> 人口1万人当たり職員数 221.67人
			[ 255 ]	[ 255 ]	[ 255 ]	

- (注) 1 職員数は一般職に属する職員数である。  
2 [ ]内は、条例定数の合計である。

(2) 年齢別職員構成の状況（28年4月1日現在）



区分	20歳未満	20歳～23歳	24歳～27歳	28歳～31歳	32歳～35歳	36歳～39歳	40歳～43歳	44歳～47歳	48歳～51歳	52歳～55歳	56歳～59歳	60歳以上	計
職員数	0人	9人	23人	12人	10人	23人	38人	23人	22人	21人	15人	1人	197人

(3) 職員数の推移

(単位：人・%)

部門別 \ 年度	23年	24年	25年	26年	27年	28年	過去5年間の増減数(率)
一般行政	90	91	94	95	96	94	4(4.4%)
教育	18	17	18	18	16	14	△4(△22.22%)
消防	0	0	0	0	0	0	0(0.0%)
普通会計	108	108	112	113	112	108	0(0.0%)
公営企業等会計	87	89	95	92	86	89	2(2.2%)
総合計	195	197	207	205	198	198	2(2.5%)

(注) 1 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数。

2 合併した団体にあつては、合併前の年については合併前の旧団体の合計職員数。

## 7 職員の福祉および利益の保護状況（28年度）

### （1）健康診断など実施状況

・健康診断受診者数	154人
・人間ドック受診者数	37人
・がん検診受診者数	15人

### （2）職員互助会の設置および活動状況

地方公務員法第42条に基づく職員の保護、元気回復その他厚生に関する事項を実施するため、信濃町職員互助会（会員数205名）を設置し、保護、保養、教養、体育振興などの事業を行っています。

職員互助会は、職員の月会費（給料月額2.8/1000＋共済掛金として300円）と町負担金（給料月額2.3/1000）などにより運営されています。

### （3）特記事項（平成28年度）

	認定件数
公務災害・・・・・・・・	5件
通勤災害・・・・・・・・	0件

### （4）不利益処分に関する不服申し立ての状況等（平成28年度）

勤務条件に関する措置の要求	0件
不利益処分に関する不服申し立て	0件